

「ながらスマホ」が招いた自転車衝突事故

～インターネットトラブル事例集より～



「歩きスマホ」や「自転車スマホ」は、自分だけのケガだけにとどまらず、あなた自身が被害者や加害者になってしまう可能性があります。「危ない」と思った経験はありませんか？「ながらスマホ」はどのような事故やトラブルを引き起こしそうなのか考えてみましょう。

スマホを見ながら走行していたら



スマホを見ながら、片手で自転車を運転していたBくん。横断歩道を歩いていた高齢者に気づかず、ものすごい勢いで衝突してしまいました。

歩行者に衝突し大ケガをさせてしまった



高齢者は頭を強く打ち、一時意識不明の重体に。意識は戻ったものの、Bくんは重過失傷害の疑いで書類送検されました。

★解説

○視覚障がい者の方への調査結果

日本盲人会連合の調査によれば、歩きスマホで何らかの被害を受けたことがあると答えた視覚障がい者の方は、2人に1人いるそうです。

点字ブロック上の衝突事故もあるようですが、皆さんが前を見て歩いていれば事故は起こらないはずです。

○普段の行動を見直そう

道や階段、駅のホームなど、「ながらスマホ」が凶器となる可能性もあります。

ケガや事故、巨額の賠償金、道路交通法違反などにつながってしまう前に、自分の行動を見直してみましょう。

○最低限の約束

スマホ操作や画面の注視は、邪魔にならない所に立ち止まってからしましょう。
マナーやモラルの向上に努めましょう。

<参考> ・総務省「インターネットトラブル事例集（2021年版）」

https://www.soumu.go.jp/main_content/000707803.pdf

本メールに関して御質問、お問い合わせがある場合は下記まで御連絡ください。

【担当】福井県安全環境部県民安全課

☎0776-20-0745（直通）

メール：kenan@pref.fukui.lg.jp

子どもの安全安心に関する情報を
ツイッターで発信しています →

